令和６年度
姫路市　認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

１　認知症地域支援推進員：７　名

２　認知症地域支援推進員の役割

認知症の人とその家族に対し、理解あるまちづくりの推進

・地域包括ケアシステムの構築
・認知症に対する住民理解の啓発
・認知症の人の支援等に関わる医療介護の連携
・認知症ケアパスの作成、運営
・地域包括支援センターの支援

報告者氏名:　姫路市高齢者支援課　長嶋　益己・中安　尚子

姫路市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画(第9期）抜粋

基本理念

高齢者が住み慣れた地域で生きがいを感じながら
健やかに暮らせる姫路(まち)の実現

基本目標５

認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って生活を継続している

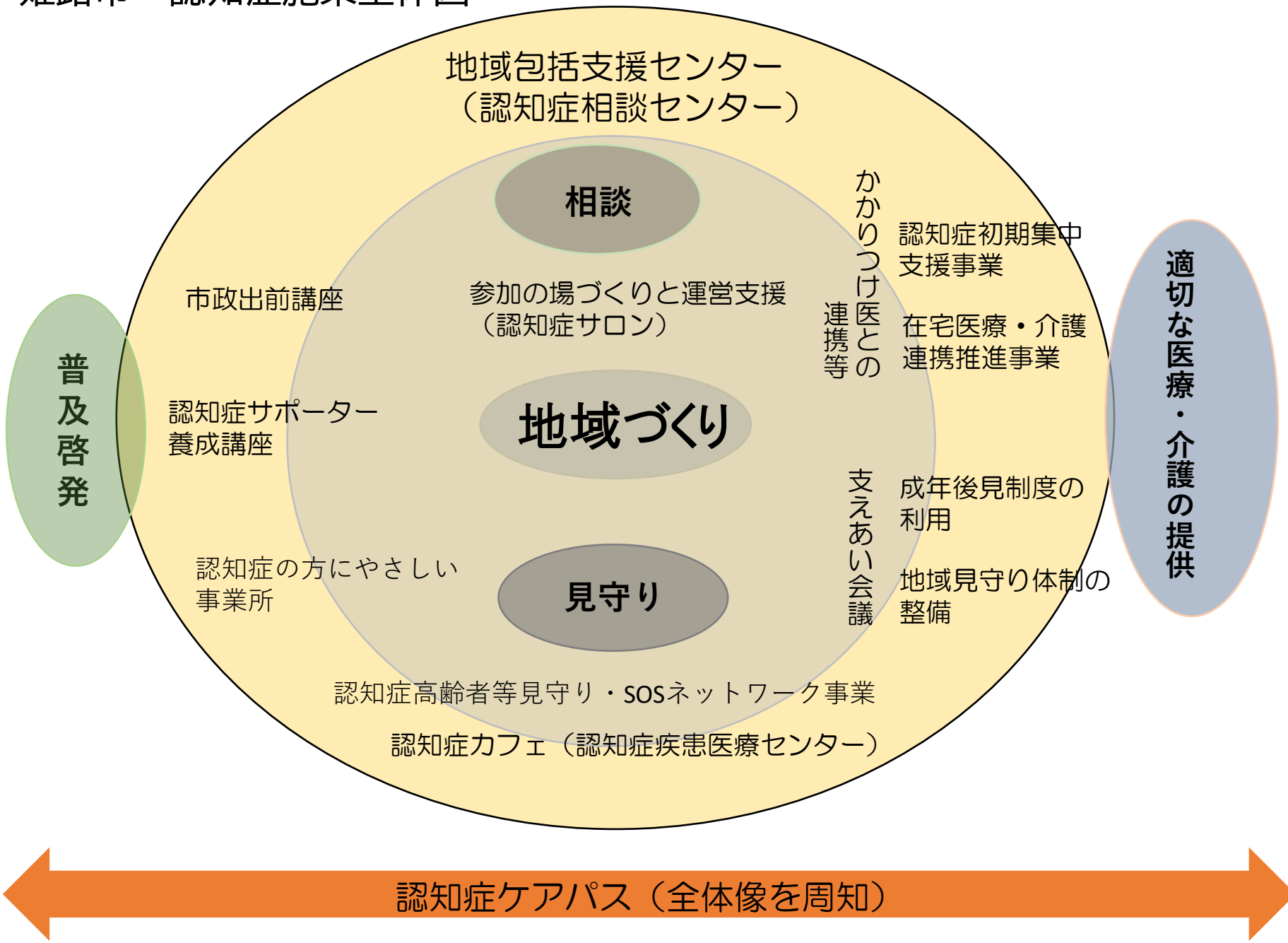
課題

(1) 認知症の人への対応力を強化する
(2) 認知症の人の意思決定支援体制を強化する
(3) 認知症の予防について理解している人を増やす
(4) 認知症の人への相談支援体制を強化する
(5) 認知症の人の当事者発信の場をつくる

方向性

◎認知症サポーターを養成する。
◎市民後見人を増やす。
◎週1回以上地域での活動に参加している人を増やす。
◎認知症の相談窓口を知っている人を増やす。
◎認知症の人が参加できる「通いの場」を増やす。

姫路市　認知症施策全体図



標題　　姫路市におけるチームオレンジの取り組み

目指すもの

認知症がある人もない人も安心して暮らし続けることができる
地域づくりを目指して、

① 普段の地域活動の中で把握した認知症の人や家族の身近な困りごとを把握し、認知症の人や家族の意向を施策に反映できるようにする。

② 認知症の人や家族に対する、介護負担の軽減や病状の理解につなげる。

★課題

・認知症の人と家族が、安心して定期的に集える場の設置
・認知症の人や家族と支援者をつなぐ仕組みを作る

★対応策

認知症サポーターを活用した「チームオレンジ」の取り組みを推進することにより、上記の課題を解決する仕組みを作る。

①　認知症サポーターステップアップ講座

【目的】チームオレンジ構築に向け、講座やグループワークを通じ、
現状及び認知症サポーターとして可能な活動を共有する

【対象】認知症サポーター養成講座受講者

【開催日時】令和７年２月２６日（水）

【参加者数】 ２３名

【内容等】講義：認知症について・取り巻く現状・チームオレンジに
ついて等
グループワーク：自分の強みを生かし、誰もが住みたい街づくりを
目指して何ができるか意見交換

※講義・グループワークを通して「チームオレンジにおける認知症サポーターの役割」について討議。活動における登録を募った。

②チームオレンジ登録

★趣旨

認知症の人やその家族が、住み慣れた地域で安心して過ぎすことができるまちづくりを
すすめるための活動で、認知症の知識を持った個人や団体などが、その知識を活かし
認知症の人ができる限り地域の社会で自分らしく暮らし続けるっことができるようチームオレンジ
としての活動を推進する。

★登録

認知症サポーターステップアップ研修受講者に、趣旨および登録について説明。
研修終了後、２団体、１名の個人登録があった
受講者と地域包括支援センターとの連携により,チームオレンジの活動に発展する団体もある。

- 最後に・・・

チームオレンジ登録を開始し、今後の活動展開について検討を進めている状況。
地域の状況や登録者の活動の現状、ニーズ等の確認をしながら、地域包括支援センター、
地域支援推進員と連携を図っていきたい。